



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 自重堂

コード番号 3597 URL <http://www.iichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務本部本部長

(氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	8,382	△4.5	886	△22.4	2,443	32.0	1,656	45.5
26年6月期第2四半期	8,774	△0.6	1,142	△11.4	1,851	0.1	1,138	△0.3

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 1,752百万円 (13.8%) 26年6月期第2四半期 1,540百万円 (18.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	107.55	—
26年6月期第2四半期	73.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年6月期第2四半期	35,037		28,271		80.7	1,835.63
26年6月期	34,462		27,380		79.5	1,777.66

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 28,271百万円 26年6月期 27,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	55.00	55.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△0.9	2,000	0.4	3,000	21.1	2,000	29.4	129.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	17,653,506 株	26年6月期	17,653,506 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	2,251,809 株	26年6月期	2,250,651 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	15,402,485 株	26年6月期2Q	15,403,996 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の進行により輸出企業を中心に業績の改善がみられるものの、消費税増税後の消費回復の遅れから内需企業は苦戦しており、業績の二極化が進行しています。更なる円安の進行も懸念され、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況のもと当社グループにおきましては、販売機会ロスを低減するために積み増した豊富な在庫を武器に積極的な営業活動を展開するとともに、顧客のニーズを捉えた新商品の開発と市場への投入を積極的に推進し、売上の拡大に努めてまいりました。また、新商品の販促キャンペーンを実施するなど、広告宣伝活動を積極的に行いブランド認知度の向上を図るとともに、企業イメージの向上による売上・市場シェアの拡大を図ってまいりました。お陰様で次世代戦略ブランド「Jawin (ジャウイン)」の認知度も向上し、販売代理店、ユーザーの皆様から高い評価を得ております。

生産面におきましては、円安の進行や、素材価格の高騰、中国や東南アジアにおける工賃の上昇などに伴うコストアップに対応するため、生産体制の見直しを進め、新規協力工場の開拓を強化するなど、製造コストの低減と品質管理体制の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,382百万円（前年同四半期比4.5%減）と、ユニフォームは順調に売上を伸ばしているものの、メンズカジュアルの落ち込みをカバーしきれず若干前年を下回る結果となりました。営業利益は製造コストの上昇などにより886百万円（前年同四半期比22.4%減）となりました。経常利益はデリバティブ評価益1,183百万円を営業外収益に計上したことなどにより2,443百万円（前年同四半期比32.0%増）となり、四半期純利益は1,656百万円（前年同四半期比45.5%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ574百万円増加し、35,037百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ209百万円減少し、23,230百万円となりました。これは主に商品及び製品が1,010百万円、原材料及び貯蔵品が148百万円、流動資産その他が665百万円増加したことと、現金及び預金が1,447百万円、受取手形及び売掛金が546百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ784百万円増加し、11,807百万円となりました。これは主に土地が145百万円、投資その他の資産その他が712百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ362百万円減少し、5,000百万円となりました。これは主に未払法人税等が602百万円増加したことと、支払手形及び買掛金が797百万円、賞与引当金が136百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、1,765百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ890百万円増加し、28,271百万円となりました。これは主に利益剰余金が795百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より1,447百万円減少し、6,377百万円（前連結会計年度比18.5%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は843百万円（前年同期は658百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,587百万円、売上債権の減少546百万円等による増加と、賞与引当金の減少136百万円、デリバティブ評価益1,183百万円、たな卸資産の増加1,171百万円、仕入債務の減少797百万円、法人税等の支払額292百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は214百万円（前年同期は119百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入561百万円等による増加と、有形固定資産の取得による支出160百万円等による減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は850百万円（前年同期は540百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額845百万円等による減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期末以降の経済動向並びにその業績に与える影響が依然として不透明ではありますが、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を踏まえ、平成26年8月7日の「平成26年6月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成27年2月12日発表の「平成27年6月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績の差異及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間における年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が22,968千円増加し、利益剰余金が14,837千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,841,315	6,393,916
受取手形及び売掛金	5,537,667	4,990,961
有価証券	8,571	3,560
商品及び製品	7,254,454	8,265,268
仕掛品	5,815	17,484
原材料及び貯蔵品	2,120,469	2,269,183
繰延税金資産	178,936	126,942
その他	499,917	1,165,568
貸倒引当金	△7,101	△2,517
流動資産合計	23,440,049	23,230,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,034,424	1,972,959
土地	3,931,881	4,077,713
その他(純額)	171,724	186,109
有形固定資産合計	6,138,029	6,236,782
無形固定資産	30,744	27,347
投資その他の資産		
投資有価証券	4,150,888	4,127,601
その他	751,831	1,464,585
貸倒引当金	△48,584	△48,807
投資その他の資産合計	4,854,134	5,543,378
固定資産合計	11,022,909	11,807,508
資産合計	34,462,958	35,037,876

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,352,790	3,555,192
未払金	315,789	276,844
未払法人税等	295,223	897,909
返品調整引当金	57,785	67,052
賞与引当金	156,757	20,112
その他	184,831	183,795
流動負債合計	5,363,177	5,000,905
固定負債		
退職給付に係る負債	561,563	587,030
繰延税金負債	282,196	322,246
その他	875,027	855,914
固定負債合計	1,718,787	1,765,191
負債合計	7,081,964	6,766,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,578	1,827,578
利益剰余金	23,306,689	24,102,399
自己株式	△1,904,417	△1,905,624
株主資本合計	26,212,349	27,006,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183,492	1,277,944
退職給付に係る調整累計額	△14,848	△13,018
その他の包括利益累計額合計	1,168,644	1,264,925
純資産合計	27,380,994	28,271,779
負債純資産合計	34,462,958	35,037,876

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年7月1日 至平成25年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年7月1日 至平成26年12月31日）
売上高	8,774,688	8,382,859
売上原価	6,021,837	5,885,599
売上総利益	2,752,851	2,497,259
販売費及び一般管理費	1,610,031	1,610,286
営業利益	1,142,819	886,972
営業外収益		
受取利息及び配当金	38,496	44,343
為替差益	125,214	58,929
受取賃貸料	31,493	30,587
業務受託料	4,101	2,688
デリバティブ評価益	498,342	1,183,127
その他	34,355	258,111
営業外収益合計	732,003	1,577,786
営業外費用		
賃貸収入原価	22,581	20,385
その他	1,129	965
営業外費用合計	23,710	21,350
経常利益	1,851,111	2,443,408
特別利益		
固定資産売却益	5	—
投資有価証券売却益	—	143,767
特別利益合計	5	143,767
特別損失		
固定資産除売却損	0	162
投資有価証券評価損	21,093	—
特別損失合計	21,093	162
税金等調整前四半期純利益	1,830,023	2,587,013
法人税、住民税及び事業税	609,623	888,674
法人税等調整額	82,300	41,872
法人税等合計	691,924	930,547
少数株主損益調整前四半期純利益	1,138,098	1,656,465
四半期純利益	1,138,098	1,656,465

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,138,098	1,656,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402,677	94,451
退職給付に係る調整額	—	1,830
その他の包括利益合計	402,677	96,281
四半期包括利益	1,540,775	1,752,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,540,775	1,752,747

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,830,023	2,587,013
減価償却費	76,419	75,651
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△24,794	△4,360
賞与引当金の増減額（△は減少）	△132,312	△136,645
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△7,101	9,267
退職給付引当金の増減額（△は減少）	33,228	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	5,330
受取利息及び受取配当金	△38,496	△44,343
投資有価証券評価損益（△は益）	21,093	—
デリバティブ評価損益（△は益）	△498,342	△1,183,127
売上債権の増減額（△は増加）	476,308	546,706
たな卸資産の増減額（△は増加）	209,753	△1,171,196
仕入債務の増減額（△は減少）	△150,477	△797,598
その他	△382,230	△482,318
小計	1,413,071	△595,619
利息及び配当金の受取額	38,496	44,461
法人税等の支払額	△792,722	△292,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	658,845	△843,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,480	△2,480
定期預金の払戻による収入	7,480	2,480
有形固定資産の取得による支出	△20,213	△160,869
有形固定資産の売却による収入	5	—
投資有価証券の取得による支出	△62,301	△35,780
投資有価証券の売却による収入	21,382	561,604
投資有価証券の償還による収入	200	—
その他	△63,367	△149,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,294	214,982
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△431	△1,207
配当金の支払額	△538,392	△845,059
リース債務の返済による支出	△1,764	△4,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△540,587	△850,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	113,439	31,950
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	112,402	△1,447,399
現金及び現金同等物の期首残高	7,194,739	7,824,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,307,142	6,377,236

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。